

# 上下水道事業の現状について

令和5年2月22日

令和4年度 第1回富士見町上下水道審議会資料

# 目次

- |   |                      |     |
|---|----------------------|-----|
| 1 | 富士見町上下水道事業の概要        | P 1 |
| 2 | 地方公営企業会計の原則          | P 2 |
| 3 | 富士見町上下水道事業の現状（計画と決算） | P 3 |
| 4 | 上下水道料金見直しへ向けての取り組み   | P12 |

# 1 富士見町上下水道事業の概要

富士見町水道事業は昭和37年、下水道事業は平成2年から事業を開始しました。平成15年に下水道事業の地方公営企業法の適用に合わせ、上下水道課として企業会計の経済性を発揮し両事業の運営を進めています。

## 水道事業の概要（令和3年度）

事業創設認可年月日	：	昭和37年12月27日
供用開始年月日	：	昭和40年1月1日
行政区域内人口	：	14,270人
現在給水人口	：	13,989人（普及率 98.0%）

- ・ 富士見町の水道事業は、昭和40年の供用開始から57年が経過しています。
- ・ 16カ所の水源、4カ所の浄水施設、43カ所の配水池を保有し利用者へ配水を行っています。

## 下水道事業の概要（令和3年度）

建設事業開始年月日	：	平成2年6月15日（農排）平成2年12月10日（公共）
供用開始年月日	：	平成6年4月1日（農排）平成5年9月1日（公共）
処理区域内人口	：	1,622人 + 11,274人 = 12,896人（普及率 90.4%）
水洗便所設置済人口	：	1,460人 + 10,535人 = 11,995人（水洗化率 93.0%）

- ・ 富士見町の下水道事業は、分流式の排除方式を採用し、平成2年から建設が開始され供用開始から30年が経過しています。
- ・ 諏訪湖流域下水道へ接続し、4つの処理場（富士見・境・立沢・西久保）で汚水処理を行っています。

## 2 地方企業会計の基本原則

### ○経営の基本原則（地方公営企業法第3条）

→企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう運営をする。

### ○独立採算の原則（地方公営企業法第17条の2第2項）

→必要な経費は経営に伴う収入（水道料金・下水道使用料）をもって充てる。

### ○公正妥当な料金（地方公営企業法第21条第2項）

→適正な原価を元に健全な運営を確保する。

特定の者に対し不当な差別的な扱いをしない。

### 3 富士見町上下水道の現状（計画と決算）

#### ○富士見上下水道事業 経営戦略

将来にわたって安定的に事業を継続していくための、中長期的（令和2～11年度の10年間）な基本計画

## 水道事業 経営戦略

### 基本方針

- 安心安全な給水の確保（水源の保全と水質管理）
- 災害に強い水道の確立（施設の耐震化と老朽施設の更新）
- 水道運営基盤の強化（経営改善、財政計画、維持管理の向上）
- 水道サービスの充実と環境・エネルギー対策の推進（情報提供・有収率・省エネ）

## 下水道事業 経営戦略

### 基本方針

- 利便性や快適性を維持していくために維持管理費の削減
- 管路・施設の修繕更新計画の策定
- 処理施設の統廃合やマンホールポンプ場の廃止による維持管理費の削減
- 水洗化率の向上、使用料収入の確保

# ○富士見町上下水道事業 経営戦略における投資計画

基本方針に基づく富士見町の投資への具体的な取り組み

## 水道事業 投資計画

### 令和2～11年度の取り組み

- 第6水源膜ろ過整備事業
- 耐震管路整備事業
- 施設更新事業
- 新水源開発事業

総額56億円  
以上の投資

## 下水道事業 投資計画

### 令和2～11年度の取り組み

- 接続幹線整備事業
- 改築更新事業
- マンホールポンプ廃止事業

総額10億円  
以上の投資

# ○富士見町上下水道事業の経営戦略における財政計画

基本方針に基づく富士見町の収入への具体的な取り組み

## 水道事業 財政計画

### 給水人口の減少や水需要に注視し持続可能な料金収入を確保

- 料金収入…料金収入が減少する中、今後の新規整備・更新事業を進めるためには
- 令和7年度以降、現状の料金体制での経営は難しい状況
- 企業債…新規事業（第6水源膜ろ過整備事業等）には企業債の発行を予定
- 他会計貸付金償還金…令和6年度以降下水道事業から10億円（年間1億円）の償還
- 国庫補助金…第6水源膜ろ過整備事業には、事業費の1/4の補助金を予定

## 下水道事業 財政計画

### 健全な経営を維持していけるよう適切な収入の確保

- 使用料収入…使用料収入が減少するものの、安定した経営ができるものと想定される。
- 他会計補助金…一般会計からの繰入金については令和7年度以降、徐々に減額できる見込み
- 企業債…自然流下方式及び接続幹線整備事業には企業債の発行を予定
- 国庫補助金…幹線整備事業には、事業費の1/2の補助金を予定
- 他会計借入金…令和5年度まで総額10億円の借入を予定

## ○令和3年度富士見町上下水道決算概要

全体として、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあります。水道事業については増収・増益、下水道事業は減収・増益となりました。今後もこの水準が続くと予想されるため、経営戦略の進捗状況に注視しながら事業を進めていきます。

### 水道事業会計

給水収益 : 458,678千円 (前年比 0.5%)

純利益 : 93,344千円 (前年比 5.9%)

- ・ 一般利用者の給水収益は伸びているものの、事業者の給水収益は3年に渡り減少
- ・ 職員1名分の給与負担会計の変更による人件費の減少

### 下水道事業会計

下水道使用料 : 522,782千円 (前年比△ 0.4%)

純利益 : 369,677千円 (前年比 5.4%)

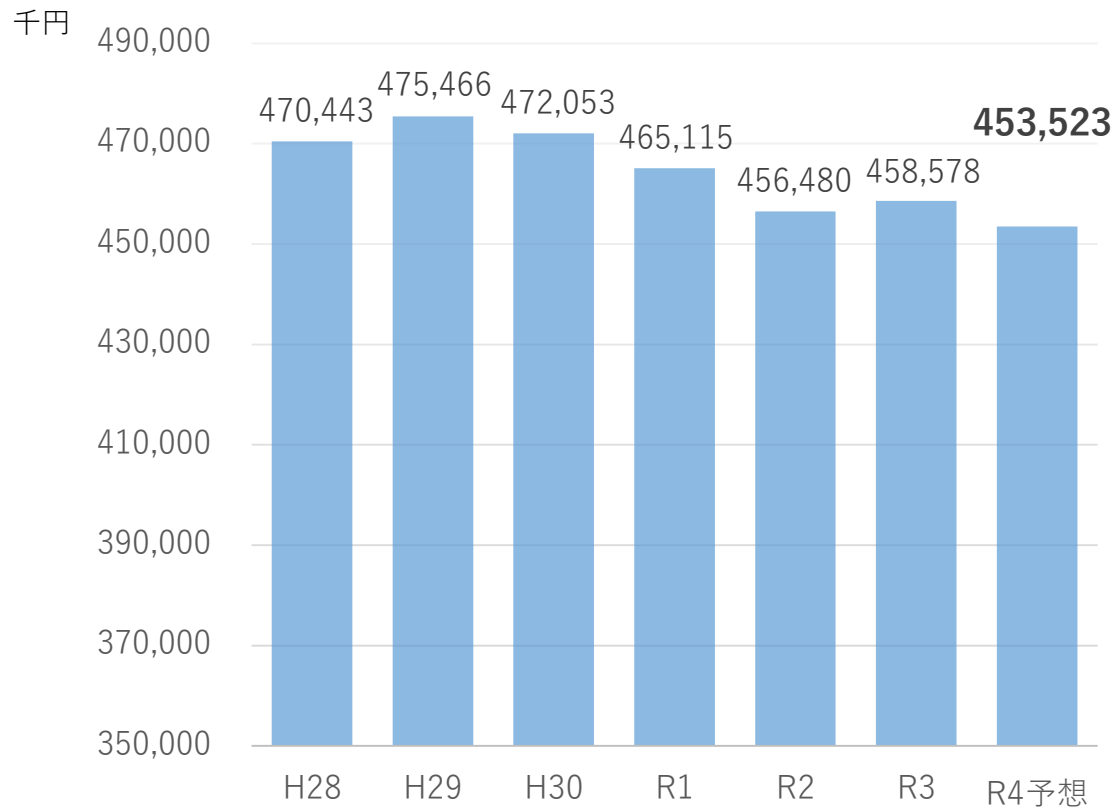
- ・ 一般利用者の下水道使用料は伸びているものの、事業者の使用料は3年に渡り減少
- ・ 企業債の償還にともなう支払利息の大幅な減少



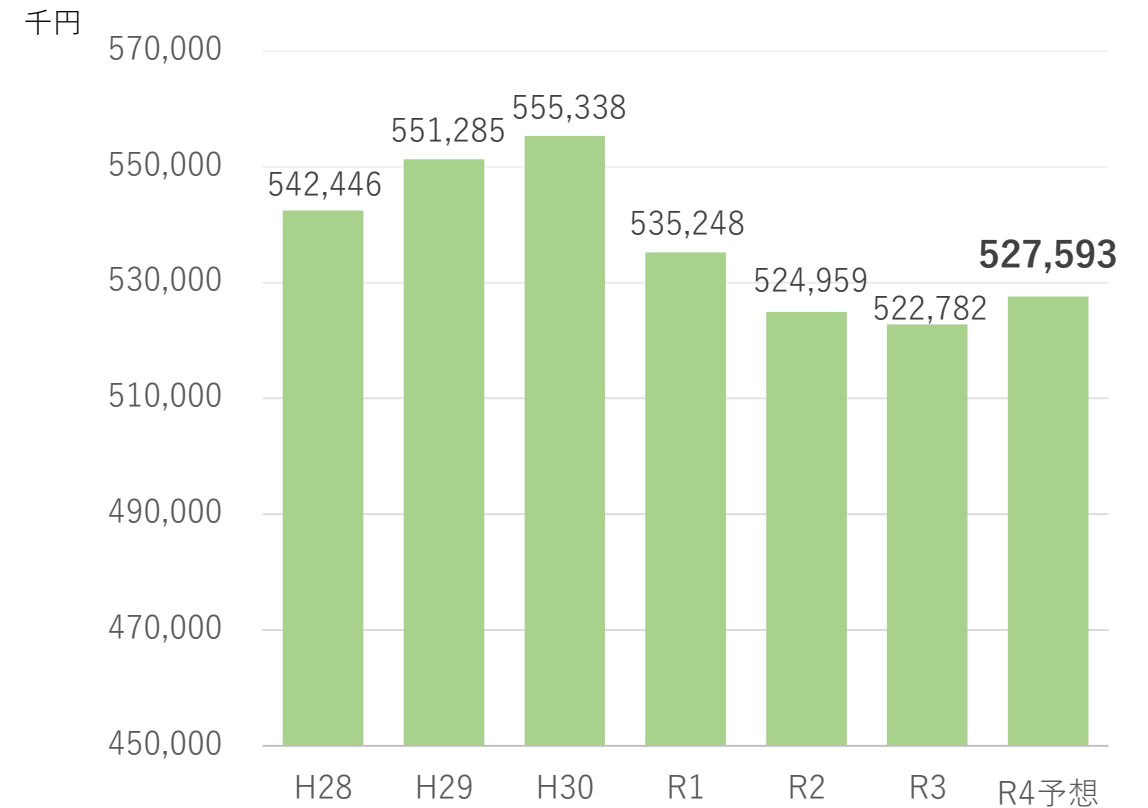
# 水道料金と下水道使用料推移

平成30年度以降、上下水道ともに新型コロナウイルスの影響により減少傾向となっています。令和4年度は、令和2年度と同等の料金収入を見込んでいます。

## 水道料金推移



## 下水道使用料推移



# 水道事業損益計算書・貸借対照表

委託料が増加したものの、人件費の減少や料金収入の回復により、営業利益は前年度比7.2%増加となりました。

(単位：千円)	R3	R2	前年比
営業収益	462,911	459,362	0.8%
営業費用	498,839	498,079	0.1%
営業利益	△35,928	△38,717	7.2%
営業外収益	145,741	145,091	0.5%
営業外費用	10,988	13,030	△15.7%
経常利益	98,825	93,344	5.9%
特別利益	0	0	
特別損失	0	0	
当期純利益	98,825	93,344	5.9%

(単位：千円)	R3	R2	増減
固定資産	7,561,326	7,488,938	72,388
流動資産	1,786,914	1,821,360	△34,446
現金預金	1,676,017	1,739,330	△63,313
資産合計	9,348,240	9,310,298	37,942
固定負債	1,027,588	980,827	46,761
企業債	304,386	257,625	46,761
流動負債	102,469	117,654	△15,185
繰延収益	2,245,034	2,337,493	△92,459
負債合計	3,375,091	3,435,973	△60,882
資本合計	5,973,149	5,874,325	98,824

# 水道事業の投資概要（第5次総合計画 実施計画）

事業	事業内容	R3決算額	R4予算額	R5計画額
水源対策浄水方法変更	第6水源膜ろ過方式浄水場整備	123,783千円	189,981千円	548,573千円
耐震管整備	六道入笠線第2本管布設替、高森地区、富士見小構内、テクノ街道	94,369千円	142,800千円	103,700千円
老朽施設整備	エプソン流量計室内、立沢区、葛窪区、富里区、南原山区配水管等布設替	43,384千円	22,550千円	150,146千円
その他整備	消火栓、井戸ポンプ、送水ポンプ、減圧弁、流量計等更新	43,626千円	28,438千円	22,133千円
営業設備	量水器取替	40,523千円	75,176千円	38,000千円

# 下水道事業損益計算書・貸借対照表

使用料収入の減少と、人件費の増加により営業利益が前年度比3.4%減少となりました。  
企業債償還のピークを越え、次年度以降は企業債残高の減少額が少なくなっています。

(単位：千円)	R3	R2	前年比
営業収益	523,316	525,320	△0.4%
営業費用	768,567	762,505	+0.8%
営業利益	△245,251	△237,185	△3.4%
営業外収益	700,404	693,347	1.0%
営業外費用	91,572	110,443	△17.1%
経常利益	363,581	345,719	5.2%
特別利益	6,274	4,898	△28.1%
特別損失	0	0	
当期純利益	369,677	350,617	5.4%

(単位：千円)	R3	R2	増減
固定資産	13,694,911	14,021,069	△326,158
流動資産	867,581	772,882	94,699
現金預金	769,661	676,781	92,880
資産合計	14,562,492	14,793,951	△231,459
固定負債	3,882,304	4,303,497	△421,193
企業債	3,001,117	3,522,310	△521,193
流動負債	723,934	734,220	△10,286
繰延収益	5,149,248	5,318,905	△169,657
負債合計	9,755,486	10,356,621	△601,135
資本合計	4,807,006	4,437,330	+369,676

# 下水道事業の投資概要（第5次総合計画 実施計画）

事業	事業内容	R3決算額	R4予算額	R5計画額
自然流下方式整備	富士見No.1、池袋入口MP自然流下方式整備、テクノ街道新設整備	149,127千円	79,400千円	55,000千円
MP通報装置更新	マンホールポンプ通報装置更新	12,430千円	0千円	0千円
設備機器類等更新	マンホールポンプ、処理場ポンプ、脱水機入替、制御盤更新	1,540千円	9,568千円	1,355千円
諏訪湖流域建設負担金	富士見町関連工事負担金	16,443千円	26,336千円	29,626千円
その他整備	舗装復旧、マンホール更生	15,345千円	0千円	13,150千円

## 4 上下水道料金の見直しへ向けての取組み

経営戦略の水道事業において、現料金体制での経営は難しいとの判断がされていることから、料金見直しへ向けた取組みを実施します。

令和4年度		令和5年度										令和6年度	
2/22			7/上	8/上	9/下		11/下	12/上		2月下	3月		
第1回 審議会			第1回 審議会	第2回 審議会	第3回 審議会		第4回 審議会	第5回 審議会		第6回 審議会			
現状説明			<b>諮問</b> 現状説明	たたき台 の説明と 質問意見	説明内容 の 質問意見		素案とり まとめ	<b>答申</b> 改定(案)		現状説明	条例改定		
	広報(3)	4月末 R4決算 6月下 決算審査		広報(8)	広報(9)	10/末 住民 懇談会 広報(10)		広報(12)	広報(1)		3月 定例会		

※令和5年度の審議会の開催予定です。

※第1回から第5回の日程については、令和5年度5月以降開催日を決定し、ご案内します。

# お問い合わせ

本審議会資料に関する、ご意見・ご質問は下記へお問い合わせください。

富士見町上下水道課庶務経理係

電話：0266-62-9352

FAX：0266-62-7509

Mail：[jyougesui@town.fujimi.lg.jp](mailto:jyougesui@town.fujimi.lg.jp)